

第2次健康日本21安城計画 第5回策定委員会

日時：平成30年10月26日（金）

午後1時30分～3時

場所：安城市保健センター2階 講座室

出席委員：清水誠司、浅井章夫、神谷明文、由良俊英、宮下晴美、黒柳厚子、鈴木広幸、
矢田力三、岩瀬英行、布目政仁、神谷由美子、柳澤義雄、吉田裕之、古居敬子、
小田克成
（敬称略）

助言者 愛知医科大学看護学部長 坂本真理子

事務局 子育て健康部長、健康推進課長、健康推進課主幹、健康推進係長
健診係長、保健指導係長、健診係専門主査、保健指導係専門主査
健康推進係担当者

傍聴者 0名

<次第>

1 あいさつ

2 議題

(1) 第2次健康日本21安城計画改訂版（案）について・・・資料1、2

①指標について

②推進体制について

③パブリックコメントについて・・・資料3

(2) 安城市自殺対策計画（案）について・・・資料4

①本編について

②推進体制について

③名称について

④パブリックコメントについて・・・資料3

3 講評

◆事務局より

【事務局】子育て健康部長

皆様こんにちは。本日は、大変お忙しい中、第2次健康日本安城計画策定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は本日進行役を務めさせていただきます。子育て健康部長の鈴木でございます。よろしくお願いいたします。

10月1日付けで策定委員の交代がありましたので、ご紹介させていただきます。安城市薬剤師会として、前任の山口佳久様から野村直人様に代わられました。本日、野村様に

おかれましては欠席の連絡をいただいておりますが、ご報告をさせていただきます。

また、ご欠席の連絡につきましては、秀島委員、酒井委員、竹本委員から欠席の連絡を頂いております。

ただいまの出席委員は健康日本21安城計画策定委員会規則第4条第2項に規定します委員の半数以上に達しており、策定委員会は成立しております。

なお、会議の議事録についても公表させていただきます。安城市の公式ウェブサイトにて掲載いたしますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

では開催にあたりまして清水会長よりごあいさつをお願いいたします。

1 あいさつ

<会長>

皆様こんにちは。本日は第5回目の委員会となります。今日は主にこの計画に我々が最後のチェックを入れて、公表に向かっていくという流れになろうかと思えます。

計画自体は10年の長丁場ですが、その中間年でかなり注力をして、指標等を見直しているということです。また、他の計画との関連性を見ていくと、他の様々な計画と連携して横で支えるようなものと位置付けられています。

今までの経緯としては、平成29年度に様々な調査を実施し、今年度は計画の中間評価と改訂をすすめているところで、今回の会議としては、改訂案の承認というところが到達点ではないかと考えています。過去の4回の策定委員会においては、かなり色々なご意見をいただきましたので、それらを踏まえた計画になってきているのではないかと思います。

今後はパブリックコメントを実施し、これらを踏まえて来年1月30日に第6回で最終承認をするような流れかと思えます。今回の会議については、計画の骨格に対する意見を言う最後の機会になるかと思えます。

自殺対策計画については、今回が素案レベルのものとなりますので、皆様からのご意見を賜りたいと思えます。

【事務局】子育て健康部長

ありがとうございました。これより議題の審議に入らせていただきます。なお、これからの進行につきましては、清水会長に議事を進めていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

<会長>

皆様よろしくお願ひします。座って進めさせていただきます。では議題(1)第2次健康日本21安城計画についての①から③について事務局より説明をお願いします。①から③の説明が終わってからご意見を賜りたいと思えます。

【事務局】

①～③について説明

<会長>

今回説明いただいた内容が、ほぼ完成形に近いものかと思います。今回の改訂の目玉となります指標についての記載のある第5章以降を中心にご意見いかがでしょうか。

一般の方にご意見をいただく前段階としてのものという位置付けでお考えください。

<柳澤委員>

総合指標について、カラー刷りでわかりやすく、知っ得コラムもわかりやすくて非常によいと思います。最終的に小冊子を作ったところでどのくらいの人を読んでもくれるでしょうか。知っ得コラムだけを集めて概要版にしてもいいのかもしれないし、知っ得コラムを充実することやスポーツイベントなどの情報提供などもできるといいと思いました。これから具体策をもって推進できるとよいと思います。

<会長>

一般の方が手に取ってわかりやすい部分がちりばめられていて非常にわかりやすいという評価をいただきました。コラムだけですと計画の内容が分かりにくくなってしまうので、コラムを読みつつ間に入っている中身をちゃんと読んでもらえるような感じにしておいてもらえると効果的でいいと思います。

このあたり事務局の方のご意見いかがでしょうか。

【事務局】

まず市民に知っていただくために、統計資料等を有効的に活用しながら計画の概要版を作成していくとともに、推進においては、関係機関の皆様のご協力をいただきながら進めてまいりたいと思います。

<吉田委員>

柳澤委員と同様にやはりPRが重要だと思います。企業や団体等をつなぐ連絡会議のようなものがあると情報共有もしやすいと思います。

ケンサチグランプリ採択事業としてスマイルランニングの活動をしている団体もあるので、様々な団体の活動が情報共有することで相乗効果でよい効果が得られていくのではないかと思います。

<会長>

各団体の事業や活動についても、計画書の中に記載してもよい時代になってきているの

かなと思います。色々なリンクを張れるようなものであれば、情報収集していくことはよいかと思います。

【事務局】

健康づくりサポーターの活動は情報提供していくことも行っておりますので、健康をサポートしていただけるような団体については、連携していきたいと考えております。

<会長>

その他よいでしょうか。先ほどの説明のところでは参考資料の部分は、今日の会議では出ないということで説明がありましたが、いかがでしょうか。

【事務局】

今回のパブリックコメント実施にあたっては、参考資料の部分は提示しない方向で考えておりましたので、今回は資料の中に含んでおりません。

<会長>

資料のボリュームとしては、71 ページ以降の指標のまとめの部分が、全体を把握するにあたって、コンパクトにまとめてあって非常にわかりやすかったので資料としては公開していただくようご検討していただきたいと思います。

【事務局】

内部で検討していきます。

<布目委員>

国や県の指標と安城市のポジションについて、他の市町との比較などあるといいのかと思いました。

<会長>

なかなか他の都市の情報まではありません。

<副会長>

例えばですが計画書には県や保健所の取り組むことに“〇〇と連携をします”と記載がありますが、具体的に何をするのがわかりにくいので、表現を整理していただきたいと思います。

【事務局】

各関係機関との調整会議や意見交換の場を設けたり、指導・助言をいただくことやその他のことを総称して、連携をしますという表現にしています。

<会長>

衣浦東部保健所にご意見伺いましょう。

<鈴木委員>

保健所からの意見を採用していただいているところかと思いますが、色々な連携の方法がありますので、これらを包含して連携という言葉でまとめさせていただいたということでご理解いただければと思います。

<会長>

保健所の具体的な取り組みを書き出すとボリュームも大きくなってしまいますので、取りまとめをさせていただいたということで、副会長よろしいでしょうか。

沢山のご意見をいただきましてありがとうございます。これらの計画の内容について皆様承認いただけますでしょうか。よろしければ拍手をお願いいたします。

※一同拍手

<会長>

それでは議題（１）について承認いただきました。続きまして次の議題に移りたいと思います。安城市自殺対策計画（案）について事務局説明をお願いします。

【事務局】

①～④について説明

<会長>

ありがとうございました。前回からかなり進めていただきまして、計画全体のものが出来てきました。計画の名称について何かご意見ありますでしょうか。今回の“いのち支える安城計画”の名称をご承認いただけましたら拍手をいただけますでしょうか。

※一同拍手

<会長>

名称については、これで承認ということをお願いいたします。では計画の内容についてご意見等ありますでしょうか。

<神谷委員>

チャイルドラインについては、全国的な名称なので、安城市の活動名称とは異なりますので確認をお願いします。正式名称はチャイルドラインみかわです。

つどいの広場事業がこころの健康を保持するための支援に入っていますが、28ページの居場所づくりの支援に入れていただいた方がいいかと思います。

子ども関連事業の中に勤務・経営に●が入っているところがあるのですが、それで正しいかがわかりません。

<会長>

神谷委員にお聞きしたいのですが、チャイルドラインは、どんなシステムでしょうか。

<神谷委員>

基本的には匿名です。フリーダイヤルが全国からかかってきて、それを47都道府県のどこかの支部が電話をうけるという仕組みです。相談に応じて地元の自治体へつなぐなどではないので、基本的には話を聞いて終わりという形式です。

【事務局】

団体の取組については、整合性を図って調整していきます。

<会長>

勤務・経営の●がはいっているところが、子どもの親だからという理解でよいでしょうか。

【事務局】

会長のおっしゃるとおり、親のポジションとして勤務・経営に●を入れています。

<岩瀬委員>

市職員の健康管理、市職員の研修事業は（自殺対策の取組として）違和感があるかどうか。

【事務局】

この事業は市が実施しているもので、国の事業に照らし合わせたものです。この取組が、（自殺対策として）市民に向けてということに違和感があるということでしょうか。そうであれば検討していきます。

研修については、（市民に対してだけでなく）職員もゲートキーパーのようなつなげてい

く視点を持たせるための取組になりますので、ご理解いただければと思います。

<会長>

その他ありますでしょうか。

<布目委員>

23ページ以降の事業名ではわかりにくいものがあるので、関連事業の全体像が分かるものがあるといいと思います。文章を読んでもわかりにくいところがあるのでわかりやすくしてほしいと思います。

【事務局】

18ページに計画全体の構成を記載しています。つながりについてもここで全体像をお示ししています。20ページには重点項目の概略を記載しておりますので、これらを踏まえて基本施策を23ページ以降に記載している構成となっています。

具体的な事業内容についてはわかりにくい部分はあるかと思いますが、色々な事業で市民の皆様を支えていくということをご理解いただければと思います。

<布目委員>

じっくり読んでいけば理解しやすいかと思います。

<会長>

実際に困った人がどこを読んでいけばいいのかわからない状態にならないか気になります。どこかに困ったことがあればここに連絡しますよといった項目があるといいなと思います。

【事務局】

37ページの相談一覧が連絡先の集約と考えております。

<神谷委員>

26ページの学校での部活動や学校での授業はこころの健康を保持するための支援にあたるのが違和感を感じています。

【事務局】

学校教育が健全な人材を育成するという方向で考えておりますので、この中に入れさせていただきました。

【事務局】

一時期中学生が自ら命を絶つということがありました。これを受けて教育委員会でも命を大切にする教育ということを進めているところです。

＜神谷委員＞

それであれば、学校での授業（という表現）ではなく、命を大切にする取組など表現を検討してほしいです。

【事務局】

ご意見を参考に検討します。

＜古居委員＞

表現的にもう少し柔らかく、困ったときにどうしたらいいかを分かりやすく盛り込んでもらえればと思います。相談は結論を出すのではなく、聴いてあげること、優しく受けとめることが大事、市政も優しい姿勢を出してほしいと思います。

＜会長＞

ご意見ありがとうございます。良い意味で前向きの姿勢がわかるような表現を一度検討していただきたいと思います。一つ一つ事業を精査してくと時間が足りなくなってしまう。パブコメ後に市側の修正もまだ余地としてあるかと思います。最終的によりよいものにしていただければと思います。

いのち支える安城計画について、今の段階では了承いただければと思います。

※一同拍手

＜会長＞

ありがとうございます。本日も闊達なご意見いただきましてありがとうございます。

3 講評（坂本先生）

会長が毎回の会議の前に、プロセスと位置づけの確認をして、説明をいただいているところが非常にわかりやすいかと思います。

今回の内容についてのポイントは、パブリックコメントの部分だと思います。どこまで意見を出していくのか、まったく反応がないのは面白くないと思いますので、委員のメンバーやヒアリングをした関係団体に対して一声かけていくことが必要かと思います。

計画の推進については、計画策定後に関係団体が話し合いを推進のためにしている市町もありますので、計画策定だけでこの関係性が終わらないように来年度以降の推進に役立

ていただきたいと思います。

自殺対策計画については、よい名称になったかと思います。また内容については、たくさん意見がありましたが、事業の意味を広く捉えるか、狭く捉えるかということで、広く捉えれば計画につながっていくが、少し広すぎて分かりにくかったのかなと思います。取組はたくさんあるので、もう少し、絞ってもよいかなと思います。市でどのレベルまで絞っていくかを考えていってください。

事業名のところに、事業名、団体名、協議会名が混在しており、わかりやすく整理する必要があるかと思います。

本日は活発なご意見がいただきまして非常に有意義な時間だったかと思います。ありがとうございました。

<会長>

的確なご指摘いただきまして、今後は議論中に先生からもご意見いただければと思います。

非常にワイドレンジでとりまとめをしているところがあります。どうしていったら全体像を捕まえやすくわかりやすくなるかについて、検討していただければと思います。

<岩瀬委員>

パブリックコメントに出す案としては、事務局一任になりますでしょうか。

【事務局】

事務局一任か修正案をお送りして確認していただくというどちらにいたしましょうか。

<会長>

かなり事業を絞り込んで、事業を少なくしていく方向で事務局一任でお願いできますでしょうか。修正概要について承認いただけますでしょうか。

※一同拍手

<会長>

それでは、先生のご意見等を踏まえて事務局一任でお願いいたします。

【事務局】

計画の推進についてご意見をいただきましてありがとうございます。自殺対策計画については、全庁的な取り組みとして職員の行動計画の部分も記載しております。本日いただきましたご意見を踏まえまして修正をしていきたいと思っています。